
平成 23 年度
品川区行政評価委員会
資 料
〔第 1 日目〕

【日時】平成 23 年 7 月 31 日（日）8:45～12:30

【会場】品川区役所第二庁舎 8 階 研修室

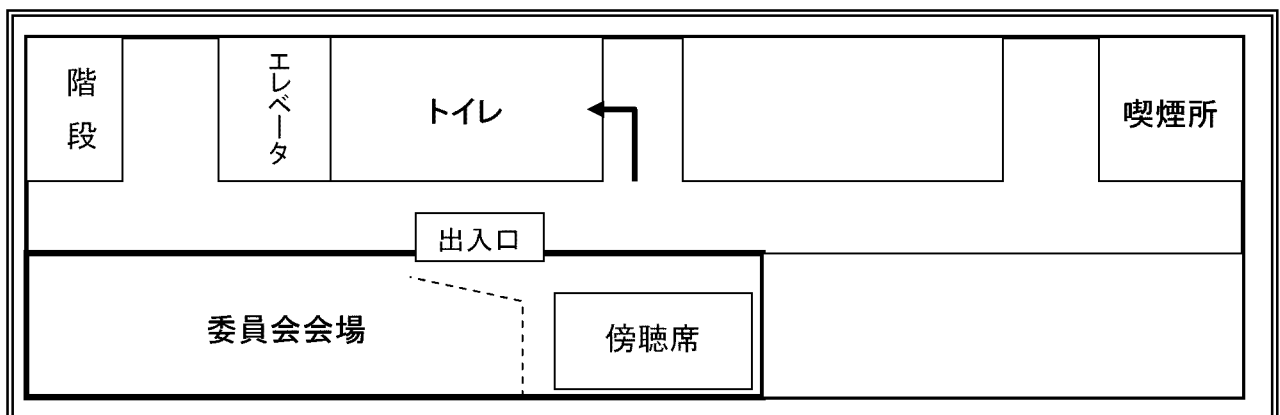
品

品川区

～傍聴される皆さまへのお願い～

- 会場では静粛にお願いします。
- 会場の入退場は自由です。
- 会場内でのお食事や喫煙はできません。飲み物はお飲みいただけますが、他の傍聴者の方のご迷惑とならないようお気をつけください。また、ペットボトル等のゴミはお持ち帰りください。
- 携帯電話をお持ちの方は、マナーモードにするか、電源をお切りください。
- 会場内での撮影、録音等はありません。（区関係者および報道関係者を除く。）
- 会場には報道関係者および区広報担当者が撮影に入りますので、ご了承ください。
- 評価に対する賛否の表明や拍手などを行わないでください。また、傍聴の方からのご質問はお受けできません。
- ゼッケン、たすき等の着用や、旗・プラカード等の持込はできません。
- その他、審議の進行の妨げや他の傍聴者の方の迷惑となる行為は行わないでください。指示に従っていただけない場合は、退場していただく場合がありますので、ご了承ください。
- 手荷物、貴重品などは各自で管理をお願いします。
- 庁舎内は本会場およびトイレ以外の場所には立ち入らないようお願いします。

<会場図>



平成 23 年度品川区行政評価委員会スケジュール

■第1日目 平成 23 年 7 月 31 日 (日)

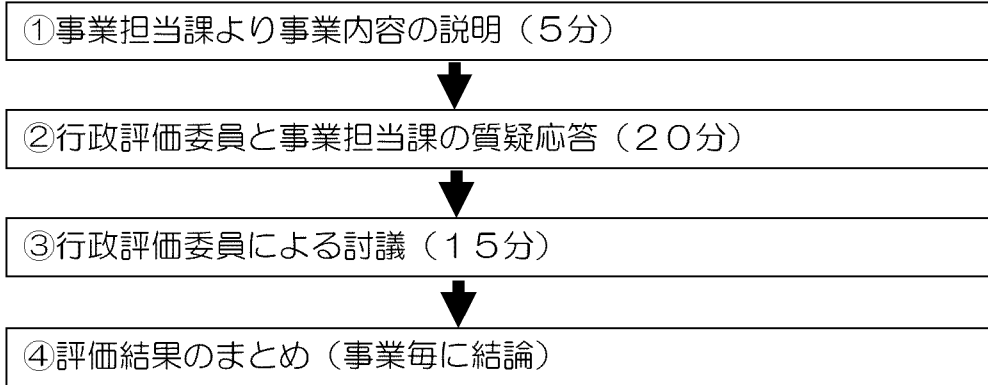
時間	内容	担当課
8:30	開場	
8:45~8:50	開会・区長挨拶	
8:50~8:55	委員紹介・委員長挨拶	
8:55~9:00	事務局説明（委員会運営）	
9:00~9:45	①結婚サポート事業	地域活動課
9:45~10:30	②図書館の運営	品川図書館
10:30~10:45	（休 憩）	
10:45~11:30	③高齢者の生きがいづくり事業	高齢者いきがい課
11:30~12:15	④地域における健康づくり事業	健康課・品川保健センター
12:15~12:30	まとめ・次回日程説明	

■第2日目 平成 23 年 8 月 6 日 (土)

時間	内容	担当課
8:30	開場	
8:45~9:30	⑤児童センターの運営	子育て支援課
9:30~10:15	⑥水辺の利活用の推進	水とみどりの課
10:15~10:30	（休憩）	
10:30~11:15	⑦マイバッグ運動推進事業	環境課
11:15~12:00	⑧区民に対する災害情報の発信	防災課・広報広聴課
12:00~12:30	委員会総括	

行政評価委員会の進め方

1. 評価の流れ<1 事業あたり 45 分程度を目安とします>



2. 評価のまとめ方

事業の評価は「必要性」・「代替性」・「効率性」などの観点で議論し、事業の実施の方向性を「拡充」・「継続」・「見直し」・「廃止（休止）」の4区分で評価をとりまとめます。

☆この評価結果が区の最終判断となるものではありません。

3. 評価の考え方（評価基準）

	評価の視点
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ◆そもそも区民や区内事業者等にとって必要な事業か ・目的の妥当性、区民等のニーズはあるか ・時代の変化に適応しているか ・他に類似の事業はないか、代替手段は他にないか
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ◆その事業は区が主体とならなければならないか ・行政が担う必要があるか ・行政が担う必要性があっても、区が実施することが適当か
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施手法は適切か ・投入された資源量に見合った結果、成果が得られているか ・最小の経費で最大の効果を挙げているか ・受益者負担は適正か ・対象範囲は適正か ・同種の事務事業を実施している自治体や民間企業と比べて手法は効率がよいか

<実施の方向性>

	評価	評価の説明
A	拡充	十分な事業水準にあり、かつ将来への必要度も高く、今後も拡充が必要
B	継続	一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図りつつも、現在の事業水準を維持
C	見直し	事業の必要性はあるが、その手法・執行体制等見直しが必要
D	廃止	事業を廃止（または休止）

事務事業評価シートおよび説明資料

- ①結婚サポート事業・・・・・・・・・・・・・・・・P 4
- ②図書館の運営・・・・・・・・・・・・・・・・P 7
- ③高齢者の生きがいづくり事業・・・・・・・・P10
- ④地域における健康づくり事業・・・・・・・・P14

平成 23 年度事務事業評価シート

事務事業名	結婚サポート事業	担当課	地域振興事業部
			地域活動課
			庶務係

◆事業概要

対 象	品川区在住、在勤で独身の成人男女					
目 的	結婚のパートナーを求める区民等に、セミナーや出会いの機会を提供するとともに、個別相談を民間業者のノウハウを活用して行い、未婚化・晩婚化に歯止めをかけることを目的とする。					
内 容	結婚セミナー&交流会の開催 年3回(定員 男女各 20 名) 交流会のみ 年1回(約 40 名) 個別結婚相談の実施、毎月1回 パートナー紹介サービス入会の支援					
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> その他()					
委託等の内容	結婚セミナー・交流会の開催、結婚相談の開催、周知用チラシ作成等					
事業開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 (20)年度～ <input type="checkbox"/> 不明					
事業開始となった背景・経緯	少子化が進む中、その原因の一つである未婚化・晩婚化に焦点を当てて分析したところ、「結婚の意思はあるが、出会いの機会がない」という傾向が強かった。このような現状を踏まえ、区が実績・信頼性のある事業者を選定し、安心して参加できる出会いの場を設定することとした。					
根拠規定 (法律・条例・要綱等)						
事業にかかった経費		単位	H20 年度	H21 年度	H22 年度	
	事業費(A)		円	1,589,000	2,405,250	2,182,540
	人件費(B)※		円	834,200	834,200	834,200
	従事職員数 (非常勤・アルバイトは 事業費に含む)	正規職員	人	0.10	0.10	0.10
		再任用職員	人			
		嘱託非常勤	人			
	総事業費(C=A+B)		円	2,423,200	3,239,450	3,016,740
人件費比率(B/C)		%	34.4	25.8	27.0	
※人件費は平成 23 年度予算にお ける平均額を元 に算出	(C) の財 源内 訳	国庫補助金	円			
		都補助金	円			
		受益者負担分(使用料等)	円			
		その他	円			
		一般財源	円			
事業費の主な増減理由 (20%以上の増減がある場合)			<H20→H21> ・結婚セミナー・交流会の回数増(2回→3回) ・パンフレットの増刷 (7,500枚→30,000枚)			

平成 22 年度事業費の主な内訳	内容		数量	単位	事業費 (円)
	業務委託		1	式	2,164,500
	成婚記念品(時計付フォトフレーム)		4	個	16,800
	事務連絡経費		1	式	1,240
主な事業実績	項目	単位	20 年度	21 年度	22 年度
	別紙のとおり				
これまでの変遷・見直し経過等	事業の成果を把握するために、過去のセミナー参加者に対し、追跡調査としてアンケートを実施(22 年度) 応募多数でセミナーを落選した方へのフォローとして、交流会を開催(22 年度～)				
事業に対する区民からの意見・要望等	区が実施することにより、安心感を持って、廉価で参加できる。				
抱えている課題・問題点、今後の見直し	区民の関心は高く、セミナーおよび交流会への参加申込みは毎回定員を超え、抽選となっている。しかしながら、すぐには結婚という成果は出ず、長期間の状況確認が必要なため、事業の効果の検証が困難である。				

◆区の内部評価

評価基準	評価	評価の理由
必要性	B	セミナーへの参加希望は多く、区民ニーズは高い。
代替性	C	民間主体での事業実施は可能だが、区が関わることで参加者に安心感を与えている。
効率性	C	セミナー参加希望は多いが、結婚に至る成果が明確に把握できない現状であり、手法と効果の検証について見直しが必要である。
総合評価 (実施の方向性)	C (見直し)	区民の評価や事業の効果を見極めながら、今後の事業のあり方について検討する。

結婚サポート事業資料

①セミナー&交流会>

	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回
日	9月23日(火・祝)	2月8日(日)	6月28日(日)	9月27日(日)	2月11日(木・祝)	6月27日(日)	9月26日(日)	2月11日(金・祝)	
時間	午後2時30分～午後8時	午後3時～8時	午後3時～8時	午後3時～8時30分	午後3時～8時30分	午後3時～8時30分	午後1時30分～7時	午後1時50分～7時40分	
場所	青山こどもの城	しながわ水族館	しながわ水族館	きゅりあん	御殿山ガーデン ホテルプラフォーレ東京	しながわ水族館	きゅりあん	五反田文化センター	
定員	男女各20名			男女各20名			男女各20名		
申込者数	67名 (男性22名 女性45名)			140名 (男性52名 女性88名)			128名 (男性50名 女性78名)		
申込者の年齢構成									
年代	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
20～24	0	0	0	1(0)	2(0)	3(0)	0	0	0
25～29	4(4)	3(3)	7(7)	5(2)	6(4)	11(6)	4(2)	14(5)	18(7)
30～34	4(3)	19(6)	23(9)	6(2)	21(9)	27(11)	12(7)	31(8)	43(15)
35～39	5(4)	16(8)	21(12)	16(10)	13(4)	29(14)	17(8)	28(8)	45(16)
40～44	7(6)	6(2)	13(8)	4(1)	15(5)	19(6)	11(3)	10(2)	21(5)
45～49	1(1)	1(1)	2(2)	2(0)	2(0)	4(2)	6(3)	2(1)	8(4)
50～54	1(1)	0	1(1)	1(0)	1(0)	2(0)	0	1(0)	1(0)
55～60	0	0	0	2(0)	0	2(0)	0	0	0
60～	0	0	0	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22(19)	45(20)	67(39)	48(19)	48(20)	96(39)	52(23)	88(24)	140(47)

()内は抽選後の参加者数

②落選者対象交流会>

落選者対象交流会	計	
22年10月16日(土)	男性	女性
五反田文化センター	46名	32名
参加者	男性14名	女性32名
案内送付数	186名	
案内送付者年齢層	男性58名	女性128名
年代	男性	女性
20～24	1(0)	1(1)
25～29	8(2)	12(3)
30～34	8(4)	39(8)
35～39	14(3)	52(11)
40～44	16(4)	18(8)
45～49	6(1)	4(1)
50～54	3(0)	2(0)
55～60	2(0)	0
60～	0	0
不明	0	0
計	58(14)	128(32)

()内は参加者数

※平成22年度より実施

③結婚相談件数>

	20年度	21年度	22年度
男性	19	17	16
女性	28	37	27
計	47	54	43

④成婚数>

①セミナー&交流会の参加者同士の結婚…8名(4組)

■内訳

平成20年度第1回参加者が2組

平成20年度第2回参加者が1組

平成21年度第2回参加者が1組

②交流会参加後、オーネットに入会して結婚…6名

※22年10月実施のアンケート(162名に照会、64名が回答)と、オーネットからの情報によるもの。

⑤品川区における未婚率の推移>

	平成7年		平成12年		平成17年	
	男	女	男	女	男	女
15～19歳	98.35%	98.16%	99.42%	99.21%	99.74%	99.47%
20～29歳	86.45%	78.37%	88.84%	81.19%	88.98%	82.21%
30～39歳	45.85%	31.07%	49.72%	37.08%	48.71%	39.98%
40～49歳	24.64%	15.75%	25.56%	17.38%	26.05%	20.45%
50～59歳	13.55%	12.27%	17.07%	12.45%	18.87%	13.09%
60歳以上	3.99%	8.44%	5.39%	8.76%	7.34%	9.25%
総計	40.23%	32.76%	40.49%	33.27%	40.16%	33.60%

※国勢調査より

(参考)全国の未婚率の推移

	平成7年		平成12年		平成17年	
	男	女	男	女	男	女
15～19歳	99.18%	98.82%	99.53%	99.09%	99.63%	99.14%
20～29歳	80.25%	68.05%	80.28%	69.60%	81.82%	72.92%
30～39歳	29.67%	14.71%	34.63%	20.43%	39.02%	25.54%
40～49歳	13.02%	5.83%	16.38%	7.35%	19.65%	10.17%
50～59歳	4.89%	4.00%	8.27%	4.83%	11.78%	5.63%
60歳以上	1.38%	2.97%	2.35%	3.41%	3.34%	3.66%
総計	31.53%	23.83%	31.77%	23.69%	31.43%	23.20%

※国勢調査より

平成 23 年度事務事業評価シート

事務事業名	図書館の運営	担当課	教育委員会事務局
			品川図書館
			管理係

◆事業概要

対象	全区民、在勤・在学者等					
目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること					
内容	<p>○区立図書館 10館(品川、二葉、荏原、南大井、源氏前、ゆたか、大井、五反田、大崎、八潮)</p> <p>○図書館取次サービスコーナー 予約した図書館資料の貸出・返却サービスを2か所で実施(武蔵小山サービスコーナー、大井町サービスコーナー)</p> <p>○ビジネス支援図書館 大崎図書館2階で資料・情報の相談業務、データベースやネット検索のほか、ものづくりや企業活動に関する相談会や講座を実施</p>					
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> その他()					
委託等の内容	窓口等業務(貸出・返却・利用者登録等の窓口業務、予約処理、督促、館内外巡回など)					
事業開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 (25)年度～ <input type="checkbox"/> 不明					
事業開始となった背景・経緯	品川区立図書館は大正 12 年に六行会がつくった荏川町文庫が発端。その後、東京都へ寄付されたが、昭和 25 年に都から品川区に全面委譲され、昭和 45～59 年にかけて地区館が整備された。平成 7 年には品川図書館を改築して中央館機能を集中した。					
根拠規定 (法律・条例・要綱等)	・教育基本法(第 3 条) ・社会教育法(第 5 条) ・図書館法(第 3 条) ・文字・活字文化振興法(第 7 条)					
事業にかかった経費		単位	H20 年度	H21 年度	H22 年度	
	事業費(A)		円	812,369,592	779,795,487	797,829,911
	人件費(B)※		円	533,888,000	533,888,000	533,888,000
	従事職員数 (非常勤・アルバイトは事業費に含む)	正規職員	人	64.00	64.00	64.00
		再任用職員	人			
		嘱託非常勤	人			
	総事業費(C=A+B)		円	1,346,257,592	1,313,683,487	1,331,717,911
	人件費比率(B/C)		%	39.7	40.6	40.7
	(C)の財源内訳	国庫補助金		円		
		都補助金		円		
受益者負担分(使用料等)		円	3,318,213	3,356,957	3,299,595	
その他		円				
一般財源		円	1,342,939,379	1,310,326,530	1,328,418,316	
事業費の主な増減理由 (20%以上の増減がある場合)						

※ 人件費は平成 23 年度予算における平均額を元に算出

平成 22 年度 事業費の 主な内訳	内容		数量	単位	事業費 (円)
	窓口等業務委託		10	館	363,292,990
	建物維持管理費 (清掃委託・光熱水費等)		10	館	177,104,585
	図書等資料購入費		10	館	176,987,872
	図書館システム維持費(機器リース等)		10	館	48,611,378
	各種サービス運営費		10	館	31,833,086
主な事業実績	項目	単位	20 年度	21 年度	22 年度
	資料貸出数	点	3,317,897	3,438,942	3,506,798
	利用者登録数	人	100,083	102,004	103,348
これまでの 変遷・見直し 経過等	<p>・図書館ではこれまで、効率化および区民満足度の高いサービスの実現を図るため、内部検討会等により運営体制の見直しに努めてきた。</p> <p>平成 17 年度 全 10 館で開館時間延長、窓口等業務を民間事業者へ委託 平成 19 年度 ブロックの統合、更なる業務体系の見直しに伴う、職員非常駐化(6 館) ※平成 23 年度 1 館(大崎)実施</p> <p>・上記に加え、低コストでより利便性の高いサービスの拡充を目指し、図書館取次サービスを開始した。</p> <p>平成 22 年度 武蔵小山行政サービスコーナー開設 平成 23 年度 大井町行政サービスコーナー開設</p>				
事業に対する 区民からの意 見・要望等	大井町駅エリアに図書館機能の設置など (22~23 年度に行政サービスコーナー 2 カ所で図書館取次サービスを開始)				
抱えている課 題・問題点、今 後の見通し	「区立図書館のあるべき姿」について、内部検討会を立ち上げ、①ブロック制のあり方、②中央館である品川の機能・組織のあり方、③児童サービスの実施体制、④委託業務をどこまで拡大するか、⑤図書館取次サービスなど、低コストで利便性の高いサービスの提供と図書館のあり方などの検討を進めている。				

◆区の内部評価

評価基準	評価	評価の理由
必要性	B	公立図書館は、広く区民等の生涯にわたる学習活動等を支援していくために必要である。
代替性	B	区立図書館の運営は、区民に最も身近な区が実施主体となっ て行うべきものである。
効率性	C	窓口業務等の委託導入後、適宜改善を進めているが、今後もより効率的な運営をめざし、委託内容の見直しを図るとともに、指定管理者制度の導入効果等についても検討する必要がある。
総合評価 (実施の方向性)	C (見直し)	今後も低コストで利便性の高いサービスの提供を目指すとともに、委託の拡大など運営体制の更なる効率化を図る。

ブロック	館名	設立年月	所在地および交通機関	施設規模 閲覧席数 併設施設	平成23年度職員体制等			平成23年3月31日現在									
					職員数 ※初級数	窓口業務 委託等	※平成 15年度 職員数	資料件数	図書	視聴覚 新聞	雑誌・ 新聞	合計					
品川	品川	T1206 設立 S9807 改築 H0703 改築	北品川丁目22-3 Tel.03-3471-4687 京浜急行新馬場 駅西急行新馬場 東急バス(新馬場駅 前)	4,668㎡ 220席(うち児童用58席)	43	○	34	373,584	20,891	388	394,863						
		S9807 設立	八潮5丁目10-27 Tel.03-3789-1414 ※併設施設 JR八潮駅西急行バス 所・児童センター	852㎡ 59席(うち児童用30席) ※併設施設 八潮地域センター・区民会 所・児童センター	0	○	8	61,291	6,548	122	67,961						
		S9807 設立 H2103 改築 H2103 改築	大崎2丁目4-8 Tel.03-3485-0680 JR山手線「大崎」 駅	1,325㎡ 78席(うち児童用20席)	0	○	7	120,288	8,109	222	128,629						
		S9707 設立 H2210 改築	西五反田丁目5-1 Tel.03-3492-2131 JR山手線「五反田 駅」東急目黒線「大崎 駅」	1,121㎡ 124席(うち児童用38席) ※併設施設 五反田文化センター・教養セ ンター・第一野すこやか園	0	○	8	82,777	7,581	131	90,489						
荏原	荏原	S4511 設立 H3007 改築	中延1丁目9-15 Tel.03-3784-2587 東急池上線「荏原中 延」駅	849㎡ 41席(うち児童用16席) ※併設施設 荏原文化センター	8	○	10	84,688	10,237	156	95,081						
		S4707 設立	中延4丁目14-17 Tel.03-3781-6273 東急大井町線「中延 駅」・「荏原駅」	449㎡ 35席(うち児童用4席) ※併設施設 源氏前保育園	0	○	6	41,117	3,560	114	44,791						
		S9010 設立	豊町1丁目17-7 Tel.03-3785-6677 東急大井町線「戸越 公園駅」	746㎡ 43席(うち児童用24席) ※併設施設 滝王子児童センター	0	○	8	57,380	6,308	112	63,800						
大井	大井	S5006 設立	大井5丁目19-14 Tel.03-3777-7151 東急バス「大井第一 小学校」	837㎡ 42席(うち児童用26席) ※併設施設 滝王子児童センター	7	○	8	70,414	6,160	135	76,709						
		S4607 設立	二葉1丁目4-25 Tel.03-3782-2036 東急大井町線「大井 明駅」	402㎡ 40席(うち児童用16席) ※併設施設 二葉保育園 二葉一丁目区営住宅	0	○	6	53,633	5,190	112	58,935						
		S4607 設立 H20.3 改築	南大井3丁目7-13 Tel.03-3781-6780 JR京浜東北線「大井 駅」京浜東北線「大井 駅」京浜急行「大井 岸」	431㎡ 33席(うち児童用16席) ※併設施設 南大井児童センター・ 南大井保育園	0	○	6	50,581	3,764	121	54,466						
合計											58	-	101	995,763	78,348	1,613	1,075,724

・図書館サービスコーナー

館名	設立年月	所在地および交通機関	H23年度体制
武蔵小山	H22.8サービス開始	小山3-27-5 武蔵小山創業支援センター内 Tel.03-5749-0050	3(再任用・非常勤)
大井町	H23.7サービス開始	大井1-2-1 JR大井町駅1階 Tel.03-3777-0050	3(再任用・非常勤)

	個人貸出				グループ団体貸出						
	図書	視聴覚	雑誌	借料 資料	その他	合計	図書	視聴覚	雑誌	その他	合計
品川	524,113	186,463	32,012	2,118	70	744,776	9,967	55	2	31	10,055
二葉	152,805	34,906	11,937	632	32	200,312	1,864	44	7	7	1,922
荏原	346,698	117,878	20,534	1,178	17	486,305	5,183	110	17	8	5,318
南大井	181,366	38,164	14,534	610	12	234,686	1,591	14	1	6	1,612
源氏前	168,074	29,461	13,170	603	7	211,315	2,122	23	8	3	2,156
大井	179,635	32,631	10,065	734	33	223,088	1,295	19	7	1	1,322
大崎	297,742	65,925	22,099	1,238	12	387,016	3,780	40	16	4	3,840
五反田	202,751	64,455	6,400	1,044	12	274,662	1,794	16	1	5	1,816
大崎	302,160	77,107	17,539	969	10	397,785	4,487	73	35	7	4,602
(ヒヤク)	(10,176)	(59)	(923)			(11,158)	(71)	(1)	(29)		(101)
八潮	135,130	25,154	9,007	1,299	41	170,631	3,599	31	2	7	3,639
武蔵小山	18,220	6,149	982	0	1	25,352	61	0	0	0	61
合計	2,508,694	678,293	158,279	10,425	247	3,355,938	35,743	425	96	79	36,343

	図書館事務用貸出				障害者サービス					
	協力貸出	学校貸出	視聴覚 DVD	図書 事務用 貸出	視聴覚	雑誌	障害者 用資料	その他	合計	合計
品川	7,643	23,780	26	23,786	351	447	2	2,975	1	3,776
二葉	425	1	0	7,727	0	0	0	0	0	210,387
荏原	643	710	11	10,179	446	138	164	88	0	836
南大井	287	0	0	1,137	0	62	0	0	0	62
源氏前	272	13	0	1,648	3	0	0	0	0	3
大井	354	0	0	4,101	0	0	0	0	0	228,875
大崎	400	974	9	4,071	37	106	0	209	0	382
五反田	157	0	0	1,194	0	0	0	0	0	277,829
大崎	817	244	0	13,553	286	29	108	71	0	494
(ヒヤク)	(411)			(341)						(12,011)
八潮	277	21	2	4,532	0	0	0	0	0	179,102
武蔵小山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,413
合計	11,275	25,743	48	71,928	1,123	782	274	3,343	1	5,523

	予約処理件数	登録者数	個人登録者 延べ利用人数	貸出等件数
品川	175,368	28,069	365,785	8,384
二葉	68,518	5,333	103,124	1,983
荏原	113,028	15,063	235,594	5,345
南大井	84,918	6,443	112,540	1,294
源氏前	68,600	4,925	105,960	3,488
大井	54,649	6,895	106,954	1,831
大崎	112,313	10,505	195,072	3,974
五反田	109,611	8,502	142,480	1,828
大崎	151,606	12,390	204,191	3,287
(ヒヤク)				(883)
八潮	47,197	5,223	81,346	2,045
武蔵小山	30,255	0	14,566	0
合計	1,016,063	103,348	1,667,612	33,459

※ヒヤクは大崎図書館の再掲

平成 23 年度事務事業評価シート

事務事業名	高齢者の生きがいづくり事業	担当課	健康福祉事業部
			高齢者いきがい課

◆事業概要

対 象	区内在住の60歳以上の方 (シルバー成年式:9月15日現在、満70歳の区民)						
目 的	高齢者の生きがいづくりや地域におけるふれあいを促進するため、場や機会を提供する。						
内 容	(1) シルバー成年式事業 9月15日現在、満70歳の区民を招待し、きゅりあんで記念式典を開催。 (2) 各種レクリエーション事業 ① 高齢者作品展:作品を〇美術館で展示。優秀作品を表彰。 ② シルバーダンスパーティ:区社交ダンス連盟と共催により、きゅりあんで開催。 ③ いきいき健康マージャン広場:「賭けない・飲まない・吸わない」をモットーに、民間団体と共催で実施。 ④ いきいきカラオケ広場:民間カラオケ事業者に場の提供を受け、グループ登録者が低料金で利用。 (3) シルバーセンターの運営 個人や団体の活動の場としてシルバーセンター施設を提供。						
実施手法	(別紙補足説明資料参照) <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> その他()						
委託等の内容							
事業開始年度	(別紙補足説明資料参照) <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 ()年度～ <input type="checkbox"/> 不明						
事業開始となった背景・経緯	高齢者人口の増加が見込まれるなか、高齢者が趣味を通じた生きがい・仲間づくりの場が求められた。						
根拠規定 (法律・条例・要綱等)	(別紙補足説明資料参照)						
事業にかかった経費		単 位	H20 年度	H21 年度	H22 年度		
	事業費(A)		円	154,942,152	283,196,266	350,235,881	
	人件費(B)※		円	76,363,348	57,517,596	52,285,810	
	従事職員数 (非常勤・アルバイトは事業費に含む)	正規職員	人	8.00	6.00	6.00	
		再任用職員	人	0.62	0.62		
		嘱託非常勤	人	1.80	1.20	0.62	
	総事業費(C=A+B)		円	231,305,500	340,713,862	402,521,691	
	人件費比率(B/C)		%	33.0	16.9	13.0	
	※人件費は平成23年度予算における平均額を元に算出	(C)の財源内訳	国庫補助金	円		15,000,000	
			都補助金	円	4,448,000	4,063,000	11,179,000
受益者負担分(使用料等)			円	1,352,950	1,064,500	949,650	
その他			円	238,549	233,771	120,416	
一般財源			円	225,266,001	320,352,591	390,272,625	
事業費の主な増減理由 (20%以上の増減がある場合)				南品川・旗の台シルバーセンター改修工事費の増	南品川・ゆたかシルバーセンター改修工事費の増		

平成 22 年度 事業費の 主な内訳	内容		数量	単位	事業費 (円)
	シルバー成年式		1	式	5,519,075
	高齢者作品展		1	式	1,026,555
	シルバーダンスパーティ		1	式	292,400
	いきいき健康マージャン広場		1	式	40,090
	いきいきカラオケ広場		1	式	82,611
	シルバーセンター管理業務委託料		1	式	47,303,360
主な事業実績	項目	単位	20 年度	21 年度	22 年度
	シルバー成年式参加者数	人	920	830	920
	高齢者作品展出品者数	人	245	209	224
	シルバーダンスパーティ参加者数	人	250	230	200
	いきいき健康マージャン広場延べ参加者数	人	13,128	14,388	14,874
	シルバーセンター延べ利用者数	人	369,258	367,922	370,441
これまでの変遷・見直し経過等	(別紙補足説明資料参照)				
事業に対する区民からの意見・要望等	(別紙補足説明資料参照)				
抱えている課題・問題点、今後の見通し	(別紙補足説明資料参照)				

◆区の内部評価

評価基準	評価	評価の理由
必要性	B	各種事業が高齢者の生きがいづくりの場になるとともに、社会的孤立や閉じこもりを防ぐなど、社会参加意欲を増進するために必要である。
代替性	B	地域に密着した事業であり、区が実施・共催することで、高齢者が安心して参加することができる。
効率性	C	一部の事業については、対象者が増えているにもかかわらず参加者が減少傾向にあること、また、利用者の固定化傾向が見受けられることなどから、事業内容を見直すなど、より一層の工夫が必要である。
総合評価 (実施の方向性)	B (継続)	現在の実施水準を確保しつつ、高齢者のニーズに適さない部分については適宜見直しを図る。

高齢者の生きがいづくり事業 補足説明資料

対象事業	シルバー成年式	シルバーダンスパーティー	いきいき健康マージャン広場	いきいきカラオケ広場	シルバーセンター																																			
目的	70歳の古希を迎えた方々が、新たな気持ちで高齢社会に臨むための契機とする。	ダンスパーティーを開催し、高齢者相互の親睦を通じ、生きがいの高揚と健康の増進を図る。	“賭けない・飲まない・吸わない”をモットーとした「健康マージャン」を通して、生きがいづくりや健康増進、地域の高齢者のふれあいを促進するため、公共・民間施設の活用を図り、相互の親睦を深める「場」と機会を提供する。	高齢者の生きがいづくりや健康増進、地域のふれあいを促進するため、民間施設の活用を図り相互の親睦を深める「場」と機会を提供する。	地域の高齢者に「憩いの場」「趣味・ふれあいの場」を提供し高齢者相互の交流を促進するとともに、健康維持・増進のための設備と活動の場を提供する。																																			
対象	満70歳の区民(9/15現在)		60歳以上の区民																																					
内容	きゅりあんで記念式典を開催するとともに、記念講演、記念写真や模擬店、健康づくりや趣味、仕事に関するコーナー等で楽しみながら、区の高齢者施策を紹介。	品川区社交ダンス連盟にて、品川区社交ダンス連盟による模範演技、初心者講習会およびコンテスト等を実施(品川区社交ダンス連盟と共催)	民間、公共施設で「賭けない・飲まない・吸わない」健康マージャンを民間団体と共催で実施(毎週月～金曜日)に一般・初心者等20コースを設定)	・民間カラオケ事業者に場の提供を受けて、グループ登録者が低料で利用できる。 ・毎週(月～金)⇒1施設、月～日⇒2施設)の全時間帯	個人や団体の活動の場として施設を提供する。入浴・マッサージなどを通じ健康の保持・促進を図る。また、センターまつり、民舞民謡大会などの高齢者相互の交流事業を促進する。また、区の介護予防事業等を実施する。																																			
手法	一部委託	共催	一部委託	共催	委託																																			
事業開始年度	平成5年度	昭和54年度	平成14年度	平成13年度	昭和33年度																																			
総事業費	9,812,000円	979,400円	1,328,000円	901,460円	387,259,061円																																			
事業実績	<table border="1"> <tr><td>20年度</td><td>21年度</td><td>22年度</td></tr> <tr><td>対象者数</td><td>3,379人</td><td>3,139人</td></tr> <tr><td>参加者数</td><td>920人</td><td>830人</td></tr> <tr><td>参加率</td><td>27.23%</td><td>26.44%</td></tr> </table>	20年度	21年度	22年度	対象者数	3,379人	3,139人	参加者数	920人	830人	参加率	27.23%	26.44%	<table border="1"> <tr><td>20年度</td><td>21年度</td><td>22年度</td></tr> <tr><td>登録者数</td><td>458人</td><td>524人</td></tr> <tr><td>参加者数</td><td>13,128人</td><td>14,388人</td></tr> <tr><td>参加者数(延)</td><td></td><td>14,874人</td></tr> </table>	20年度	21年度	22年度	登録者数	458人	524人	参加者数	13,128人	14,388人	参加者数(延)		14,874人	<table border="1"> <tr><td>20年度</td><td>21年度</td><td>22年度</td></tr> <tr><td>登録グループ</td><td>1957グループ</td><td>164グループ</td></tr> <tr><td>参加者数(延)</td><td>7,182人</td><td>5,481人</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>5,182人</td></tr> </table>	20年度	21年度	22年度	登録グループ	1957グループ	164グループ	参加者数(延)	7,182人	5,481人			5,182人	別紙のとおり
20年度	21年度	22年度																																						
対象者数	3,379人	3,139人																																						
参加者数	920人	830人																																						
参加率	27.23%	26.44%																																						
20年度	21年度	22年度																																						
登録者数	458人	524人																																						
参加者数	13,128人	14,388人																																						
参加者数(延)		14,874人																																						
20年度	21年度	22年度																																						
登録グループ	1957グループ	164グループ																																						
参加者数(延)	7,182人	5,481人																																						
		5,182人																																						
見直し経過等	事業費を見直し、平成22年度から歌謡ショー等の演芸から、地域医療に携わる医師等による記念講演とした。	・平成4年度からきゅりあんイベントホールで開催 ・平成12年度運営費見直し	・平成16、17年度に会場拡充(平塚・西大井シルバーセンター、東品川文化センター、荏原いきいき倶楽部、民間施設)、初心者教室新規開設 ・平成23年度にこみゆにていぶらざ八潮に初心者教室ほか2コースを拡充 ・平成23年度より、退職者等の補充をシルバー人材センター職員に切り替え、管理運営経費の節減に努めた。	平成18年10月ビッグエコーから歌広場に変更 昭和33年、ゆたか敬老会館を初めてして区内に16ヶ所のシルバーセンターを整備してきた。当初は直営であり職員のみで運営してきた。その後、平成7年頃より、退職者等の補充をシルバー人材センター職員に切り替え、管理運営経費の節減に努めた。	昭和33年、ゆたか敬老会館を初めてして区内に16ヶ所のシルバーセンターを整備してきた。当初は直営であり職員のみで運営してきた。その後、平成7年頃より、退職者等の補充をシルバー人材センター職員に切り替え、管理運営経費の節減に努めた。																																			
区民からの要望・意見	・会場へ入るまでの待ち時間の短縮 ・介護等で当日参加できない人に対する記念品の配布	踊る時間をもっと長くして欲しい。	会場のバリアフリー化(平塚シルバーセンター、荏原いきいき倶楽部)	直接この事業に対する要望ではないが、一人でも通える教室設置の要望がある。	昨年度実施した年代別アンケートによると、比較的若い層(60代)はパソコンに関連した回答が多く、センターへの設置や講習会の実施などを希望している。70代の方々からはグループ活動の充実や仲間づくりの場としての期待が多い。 また、年代を問わず健康器具(マッサージ機、ヘルストロンなど)を良く使っているとの回答が多かった。																																			
課題および今後の見直し	参加人数が減少傾向にあるので参加意欲を高める工夫が求められる。 当面は招待状の工夫とサブテーマ「健康で充実した暮らしへの提案」に沿った講演、コーナーの内容を充実を図っていく。	参加者の減少に歯止めがかからない。	一番の課題は広場事業全体コーディネート設置により解消されたが、事業拡大に伴いボランティアが若干不足している。今後民間団体と連携により、適正な増員を図っていく。	民間のカラオケ事業者の協力で実施されている。他社の新規参入が可能かどうか、検証が必要。 現行事業者との事業継続の担保のため、年度協定を平成23年4月に締結した。	・高齢者人口の伸びに比べ、年間登録者数が伸びていない。特に60代のヤングシニアと呼ばれる世代の取り込みが課題。 ・介護予防拠点としての位置づけや、ほっとサロン併設等、老朽改修に伴いシルバーセンターの多面的な活用に努めている。																																			

シルバーセンター一覽

平成23年4月1日現在

施設名	所在地	定員 (人)	開設	規模 (㎡) (上:建物) (下:敷地)	利用最大 居室	エレベーター 設置	併設施設	主な事業			各シルバーセンターの概要								
								入浴	マッサージ	センター まつり	実登録者累計		延利用人数(年間)		平均年齢		グループ活動状況		特徴
											男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
東品川	東品川 3-32-10 ☎3472-2944	300	昭47.7.1	1456.17 2413.73	広間 225.10	○	東品川文化センター 東品川第二在宅介護 支援センター	毎日 10:30~16:00	毎週 火曜日		男性 49,134	女性 55,264	70.5歳	71.9歳	16	167	個人利用が全体の9割を占め、入浴やカラオケ等が中心となっている。		
北品川	北品川 1-29-12 ☎3471-6507	100	昭48.4.1	371.90 347.23	広間 89.36	×	単独	水・金 12:00~16:00			男性 3,878	女性 13,868	72.5歳	72.6歳	32	302	グループ活動が盛んで、地元町の利用が多い。		
五反田	東五反田 2-15-6 ☎3455-0296	70	昭51.7.1	278.28	広間 70.00	不要	五反田保育園 (ふれあい デイホーム)		8月・1月を除く月1回		男性 1,760	女性 6,789	72.2歳	74.4歳	16	181	地元の利用が多い。		
西五反田	西五反田 3-9-10 ☎3493-0076	70	昭44.4.1	263.36 592.52	広間 61.60	○	西五反田保育園				男性 979	女性 7,106	74.2歳	75.0歳	18	228	施設所在地が52%を占め、地元の利用が多い。		
大崎	大崎 2-7-13 ☎3492-9297	100	昭49.7.2	396.20 661.25	広間 71.60	×	単独	水・金 12:00~16:00			男性 5,415	女性 10,756	74.7歳	75.0歳	31	467	グループ活動が盛ん。利用者は西品川と大崎地域に二分している。		
上大崎	上大崎 1-3-12 ☎3449-1750	100	昭50.8.1	420.56 419.69	広間 78.10	×	上大崎在宅介護 支援センター	水・金 12:00~16:00			男性 3,856	女性 9,077	74.7歳	74.4歳	15	220	上大崎1丁目の利用が突出している。年齢分布は70代を中心に、なだらかな山形をしている。		
南大井	南大井 3-7-13 ☎3761-6540	120	昭46.7.1	475.26	広間 104.00	○	南大井児童センター 南大井図書館 南大井保育園	水・金 12:00~16:00	10:00 ~ 15:00		男性 5,435	女性 12,427	71.8歳	72.0歳	20	272	南大井6丁目から1丁目に至るまで南大井地区の利用が8割を占めている。		
平塚	平塚 2-10-20 ☎3782-1369	110	昭47.4.15	412.70 505.08	広間 60.90	×	単独	火・金 12:00~16:00			男性 5,429	女性 13,099	73.6歳	72.7歳	27	367	平塚2丁目を中心に、1丁目や荏原など比較的距離がある住所地でも利用している。		
ゆたか	豊町 3-2-15 ☎3781-5424	130	昭33.12.1	467.76 511.52	広間 64.90	×	単独				男性 2,782	女性 7,974	74.9歳	74.1歳	30	355	グループ活動が盛んで、豊町周辺から戸越周辺まで平均的に利用している。		
旗の台	旗の台 4-13-1 ☎3783-7479	100	昭48.6.1	403.53 678.97	広間 82.90	×	単独	火・金 12:00~16:00			男性 7,174	女性 15,477	73.6歳	74.4歳	28	339	グループ活動が盛ん。陶芸舎があり、地元ばかりでなく周辺地域からの利用も多い。		
小山	小山 5-17-18 ☎3785-6420	100	昭49.6.1	400.98 444.53	広間 71.60	×	単独	火・金 12:00~16:00			男性 5,435	女性 14,526	74.5歳	74.2歳	30	332	施設所在地である小山5丁目を中心に、広い範囲で利用されている。		
関ヶ原	東大井 6-11-11 ☎3765-7022	140	昭53.6.1	417.08 721.70	広間 79.80	不要	単独				男性 2,642	女性 16,502	73.1歳	72.9歳	35	461	グループ活動が盛んで、東大井地区を中心に利用されている。		
後地	小山 2-9-19 ☎3781-6506	140	昭54.7.1	432.50 728.13	広間 79.46	不要	後地児童センター				男性 9,515	女性 14,093	73.2歳	72.2歳	29	412	小山、小山台が中心。70代後半、80代前半で50%を占め、70代後半の割合が高い。		
南品川	南品川 5-10-3 ☎3471-7000	130	昭34.11.1	687.35 604.13	多目的 75.90	○	単独				男性 2,989	女性 9,941	74.2歳	72.5歳	28	312	南品川地区ばかりでなく、北品川、八潮、東大井と周辺地区からの利用も多い。		
平塚橋	西中延 1-2-8 ☎3781-8155	143	平17.8.1	404.17	広間 97.28	不要	平塚橋会館				男性 13,920	女性 14,070	73.1歳	72.9歳	28	312	平塚周辺のほか荏原、中延など広い範囲で利用されている。		
西大井 いさいき センター	西大井 2-5-21 ☎5718-330	120	平21.3.1	669.00 5520.00	和室 56.03	不要	ヘルスケアの ケアホーム・キッズクラブ	水・金 12:00~16:00			男性 8,883	女性 20,112	73.1歳	72.8歳	35	340	民設民営(社福)で運営している。西大井全歳から利用されている。70代が中心となっているが、60代後半も比較的多く利用している。		
小計		2,262									129,226	241,081	73.4歳	73.4歳	418	5,067	地域特性では施設住所地の利用者が多いが、東品川、平塚、ゆたか、旗の台、南品川、平塚橋、西大井いきいきなどは比較的広く利用されている。		
合計		7,685									370,307								

平成 23 年度事務事業評価シート

事務事業名	地域における健康づくり事業	担当課	健康福祉事業部
			健康課
			健康づくり係

◆事業概要

対象	健康づくりに関心のある一般区民(「健康づくり宣言認証制度」については、家族・店舗・事業所・学校・団体を含む)
目的	・「区民健康づくりプラン品川」に基づく、地域での健康づくりの推進。 ・13地区ごとの健康づくり推進委員会活動の活性化と事業の推進。 ・地域における健康づくりリーダーの育成
内容	平成17年度より、新推進体制「品川区民健康づくり推進協議会」を発足させた。身近な地域における健康づくり事業を区民が企画・参加できるように、地域の活動を推進していく。また、継続的な事業(ふれあい健康塾)を取り入れることで、より地域に根ざした自主的な健康づくり活動を推進する。併せて、平成21年度から「健康大学しながわ」を開講し地域での指導者養成を図っている。同じく21年度から「しながわ健康づくり認証制度」を発足させた。(別紙資料)
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> その他()
委託等の内容	品川区民健康づくり推進協議会 品川健康センター
事業開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 (10)年度～ <input type="checkbox"/> 不明
事業開始となった背景・経緯	平成15年3月「区民健康づくりプラン品川」が策定され、地域での健康づくりの推進の方向性が示されたことによる。
根拠規定 (法律・条例・要綱等)	区民健康づくりプラン品川、品川区民健康づくり推進協議会設置要綱

		単位	H20 年度	H21 年度	H22 年度
事業費(A)		円	3,672,219	7,306,541	5,422,112
人件費(B)※		円	5,005,200	14,515,080	14,515,080
従事職員数 (非常勤・アルバイト は事業費に含む)	正規職員	人	0.60	1.74	1.74
	再任用職員	人			
	嘱託非常勤	人			
総事業費(C=A+B)		円	8,677,419	21,821,621	19,937,192
人件費比率(B/C)		%	57.7%	66.5%	72.8%
※人件費は平成 23年度予算にお ける平均額を元 に算出	(C)の 財源内訳	国庫補助金	円		
	都補助金	円		566,000	807,000
	受益者負担分(使用料等)	円			
	その他	円			
	一般財源	円	8,677,419	21,255,621	19,130,192
事業費の主な増減理由 (20%以上の増減がある場合)				健康大学 および認証 制度の事 業開始	認証者数減 少のため

平成 22 年度事業費の主な内訳	内容		数量	単位	事業費 (円)
	品川区民健康づくり推進委員事業委託		1	式	3,951,391
	健康大学講師謝礼および講座運営委託		1	式	814,700
	認証審査会謝礼および記念品代		1	式	81,000
主な事業実績	項目	単位	20 年度	21 年度	22 年度
	地区健康づくり推進委員数	名	228	227	228
	地域での健康づくり活動参加者	名	6,831	6,752	8,221
	健康大学しながわ受講者数	名	-	1,740	1,078
	健康づくり宣言認証件数	件	-	32	4
これまでの変遷・見直し経過等	平成17年度に「品川区民健康づくり推進協議会」を設置し、協議会のもと地域センターごとに13の「地区推進委員会」を置き、より地域に密着した健康づくり活動を実践している。併せて、平成 21 年度より、健康大学しながわの開講、健康づくり宣言認証制度を発足させた。				
事業に対する区民からの意見・要望等	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進委員事業は、地域（身近な場所）で行っている事業（健康体操や講演会、調理講習会等）で参加しやすいので、これからも行ってほしい。 健康大学しながわの講座は、地域健康づくりに活用できる内容であり、専門家や参加者とともに、「正しい知識を得て実践する」健康づくりを学ぶことができた。 				
抱えている課題・問題点、今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進委員が、地域で健康づくり活動を推進できるように支援していく必要がある。 PRには力を入れているが、健康づくり宣言認証の応募件数が激減している。23 年度は現在のところゼロ件である。 				

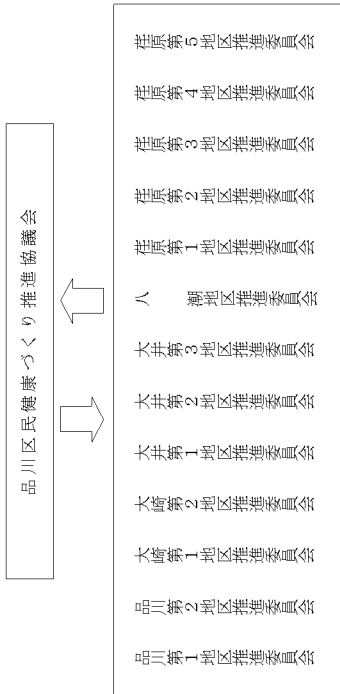
◆区の内部評価

評価基準	評価	評価の理由
必要性	B	地域における健康づくり事業の企画および健康づくりに関する啓発活動の実施のために必要である。
代替性	B	地域での健康づくりという観点から、区民とのパイプ役である推進委員会を支援することは、区が実施すべきことである。
効率性	C	健康づくり推進委員は、各関係団体、区内各町会・自治会等により推薦された者に委嘱し委員としているので、活動を推進することに適しているが、認証制度は見直しを図る必要がある。
総合評価 (実施の方向性)	B (継続)	健康づくり推進委員事業や健康大学は、地域での健康づくり活動に貢献しているが、認証制度は区民ニーズに適応した見直しが必要である。

品川区の健康づくり

健康づくり推進委員会

健康づくりは一人ひとりが、主体的・自発的に取り組むことが基本ですが、継続していく上で、身近な地域を単位とした仲間同士のつながりの中で、進めていくことも重要と考えられています。品川区では、13地域センターごとに「地区健康づくり推進委員会」を組織し、さらに各健康づくり実践団体・地域団体等との連携を強化し全体の調整をはかるために「品川区民健康づくり推進協議会」を設置し充実を図っています。



品川区健康づくり推進協議会

役割：区全体の健康づくり事業についての企画および調整
委員構成：医療関係団体・地域団体・健康づくり実践団体・13地区健康づくり推進委員会会長 計26名

※直営事業として推進委員委嘱式・講演会・研修会など

各地区健康づくり推進委員会

役割：区内13箇所（地域センター管内）毎に健康づくり推進委員会を設置し健康づくり活動を行う。

委員：推進委員は各町会・自治会からの推薦され、任期 2年 233名
活動内容：ウォーキング・料理講習会・区民まつり（健康づくりのブース出店）
講演会・赤ちゃんふれあい授業など

ふれあい健康塾 13地域センターを会場として毎月1回開催
日中あまり外出しないうで足腰が弱りがちな高齢者の健康教室。
参加者 延2,300名

健康大学しながわ

21年度より、区民の方が健康について総合的に学び、それをもとに地域で様々な健康づくり活動が出来ることに目的に事業を開始しました。

講座内容

6月から12月までの水曜日の夜間、土曜日の午後22回の講座を用意しています。

健康大学の受講生の定員は40名です。

公開講座、運動の理論と実践講座、コミュニケーション講座、健康探求講座の4講座からなります。

通常の講演会や講座は一般に1時間半から2時間程度ですが、健康大学では2時間半から3時間の濃いものになっています。また、単に聴講するだけという受身の講座ではなく体を動かして、話し合い、発表をするもののある講座内容になっています。

- ・公開講座 全5回 各分野の専門講師による講座、健康大学受講生のみでなく一般の方も受講できます。
- ・運動の理論と実践講座 全8回 品川健康センター委託 運動理論+実技講座
- ・コミュニケーション講座 全3回 健康づくりを展開する際に必要なコミュニケーションの方法を学びます。
- ・健康探求講座 全6回 6・7人のグループになり自ら、健康づくりについての課題を設定し研究し発表することにより、健康へのより深い学習を行います。

卒業後は

卒業生は、希望により翌年度の健康大学企画運営委員として大学の運営と企画をサポートする事や、地域の健康づくりを研究するグループをつくり、地域健康づくり活動に参加することを目指して自主的に学んでいます。

同窓会も自主的に組織し、講演会や運動講座を開催しています。

また、卒業コースとして、受講生と一緒に、講座内容を振り返り見直す「参加型評価」の手法を取り入れ、受講生から見た講座内容と企画した職員との目的や意図について意見交換し事業の評価を行い、次年度の講座の企画や実施方法の改善に役立っています。

地域の健康づくり実践者・関心の
あるものが健康づくりを学ぶ場

健康づくりの個人認証

品川健康づくり宣言認証制度

平成21年度より事業開始

制度趣旨

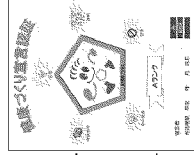
区民一人ひとりが健康で生きいきとした生活を送るためには、社会全体が協働して健康づくりに取り込むことが大切です。健康づくりを推進しているお店・事業者・団体・学校や家族の方々に公表することで、さらに積極的な活動をしていただき、区民の皆さんの健康づくりのきっかけや仲間づくりが出来るように「健康づくり宣言認証制度」を実施しています。

認証分野

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「禁煙」「歯の健康」「健康管理」
それぞれ評価をポイント制としAランクからCランクに分けての認証登録となる。

認証実績

Aランク 店舗2店舗 団体2団体 家族17組



MEMO
